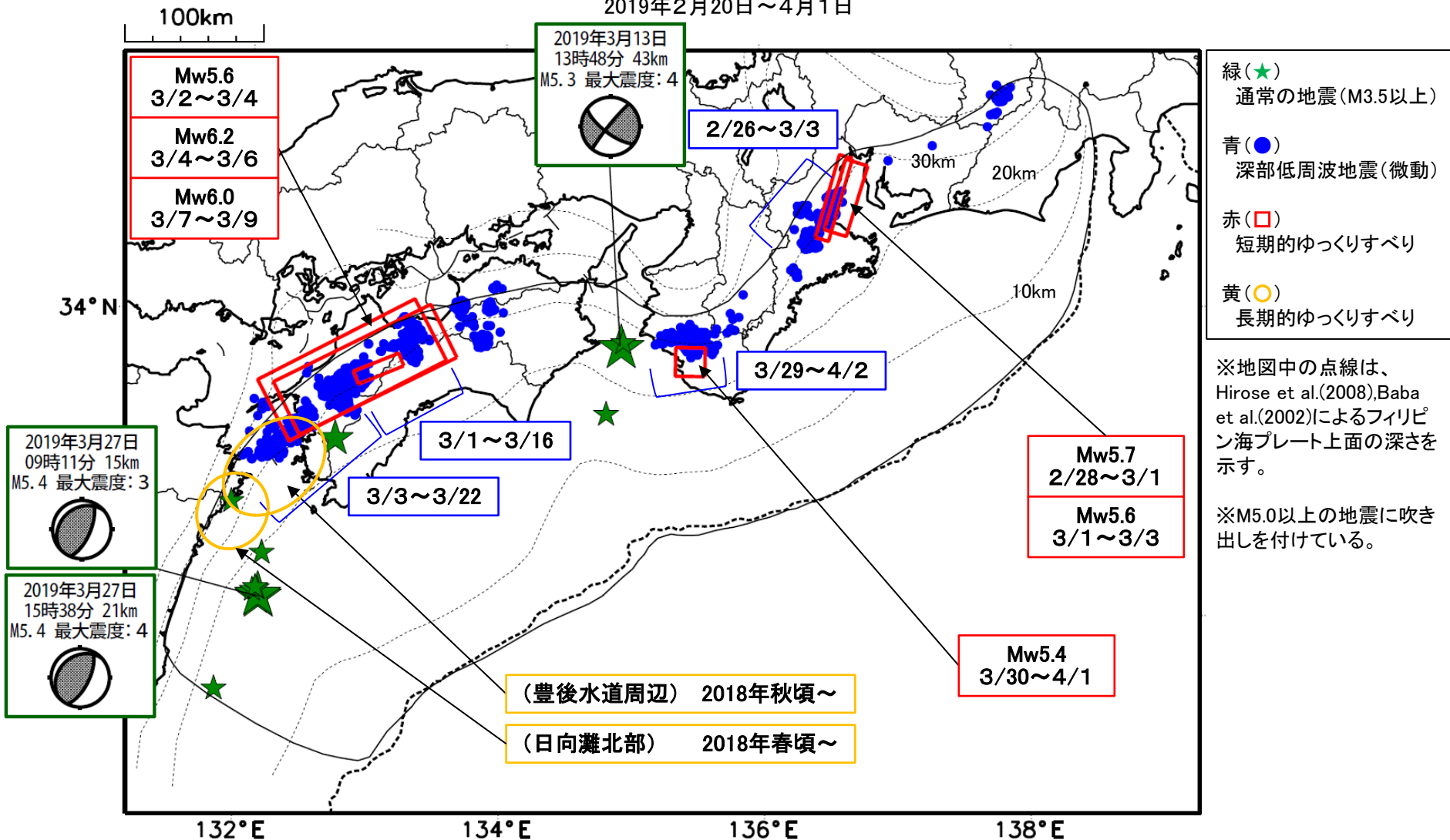


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年2月20日～4月1日



通常の地震(M3.5以上).....気象庁の解析結果による。

深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。図中表示している震源データは2月20日～4月1日。

(活動期間)防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。

短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島北部】産業技術総合研究所の解析結果による。【紀伊半島西部】気象庁の解析結果による。

【四国中部・四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。

長期的ゆっくりすべり.....【日向灘北部】【豊後水道周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

平成 31 年 3 月 1 日～平成 31 年 4 月 5 日 09 時の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日		時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
3 / 6		06:18	日向灘	48	3.7	2	フィリピン海プレート内部
3 / 7		11:20	四国沖	32	3.9	1	フィリピン海プレート内部
3 / 7		23:57	日向灘	23	3.8	1	ー
3/11		15:37	愛媛県南予	38	4.6	3	フィリピン海プレート内部
3/13～	3/13	13:48	紀伊水道	43	5.3	4	フィリピン海プレート内部
	3/27	06:51	紀伊水道	40	3.6	2	
3/16		22:41	日向灘	29	3.8	2	フィリピン海プレート内部
3/27～	3/27	09:11	日向灘	15	5.4	3	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
	3/27	15:38	日向灘	21	5.4	4	
	※M5.0以上の地震のみ記載。上記の地震を含め、日向灘のほぼ同じ場所で、3月27日にM3.5以上の地震が9回発生した。						

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 3月2日～7日 3月11日～16日 3月18日～19日 3月25日 4月3日～（継続中） ■四国中部 <u>3月2日～16日</u> ^{注1} ）・・・（2） 3月22日 3月26日～28日 4月4日～（継続中） ■四国西部 2月28日～3月1日 <u>3月3日～3月22日</u> ・・・（3） 3月27日～3月29日 4月1日～2日 4月4日～（継続中）	■紀伊半島北部 <u>2月26日～3月3日</u> ・・・（1） 3月7日～9日 3月25日 4月5日～（継続中） ■紀伊半島中部 3月28日～30日 4月1日～（継続中） ■紀伊半島西部 3月1日～2日 3月4日～5日 3月13日、3月23日 <u>3月29日～4月2日</u> ・・・（4）	3月5日～6日 3月23日～24日 3月26日～27日 4月1日～3日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数 2 日以上または活動日数 1 日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

※4月4日以降の地震の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

注 1）防災科学技術研究所による解析では、3月1日～3月15日頃。